

佐藤渡辺 かまた 鎌田 しゅうじ 修治氏

2023年に創業100周年を迎えた佐藤渡辺の社長に鎌田修治氏が就任した。101年目を踏み出す今年、「失敗を恐れず挑戦し、ステップアップにつなげられる環境をつくっていききたい」と力を込める。そのために「従業員のエンゲージメントを高め、生産性が高い現場を実現していく」と語る鎌田社長に、就任の抱負や今後の方針を聞いた。



——抱負は

「『企業は人なり』の信念の下、理念やビジョンに共感し、会社に貢献する意欲を持って働けるよう、従業員のエンゲージメントが高い組織をつくる。そのためには企業価値を向上させ、長いスパンをかけてさまざまな人に当社を評価してもらえらるようしていきたい」

新 社 長 Interview

エンゲージメントを向上

——市場環境は
「国土交通省の発注工事は、受注できる金額や件数を精査して心札に臨む。NEXCOは工事量が豊富であり、橋梁の架け替え工事などの発注が

舗装)の高性能化や多機能化の追求、リ・タンスイシステム(雨水貯留浸透施設)の販売強化、超高压ウォータージェットシステムの営業強化を3本柱に据える」

——中期経営計画のポイントは
「重点施策は、カーボンニュートラルへの対応になる。設備投資し、工場からのCO₂排出量削減を目指す。中温化素材も、東京と横浜の工場を中心に展開する。その後、需要を見極めた上で、他の地方にも広げていく」

「社員のエンゲージメントの向上も大きな施策となる。」

見込まれる」

「建築工事の需要は都内で旺盛な一方、地方では少ない状況が続く。地方の営業所などは、選択と集中により、人員の配置や事業所の再編、機構改革を視野に入れる」

——注力分野は

「舗装のほか、景観関連の工事に力を入れる。パーミアコン(ポーラスコンクリート

「パーミアコンは建物に見合った景観などが求められる中で強みを持ち、材料などを見直して付加価値を高めることで他社との差別化を図る。リ・タンスイシステムは、強度を上げるなどさらなる改良を視野に入れる。超高压ウォータージェットシステムは、床版の補修以外の工事も使える機械の開発を検討する」

——今後の展開は

「企業成長のため、人的資本や建設DX(デジタルトラ

記者の目

松下幸之助の「熱意なき人は、描ける餅の如し。知識も才能も、熱意がなければ無に等しい」を座右の銘とし、「一生懸命、精魂込めて日々の仕事をやる熱意を強く持ち続けたい」と力を込める。国直轄工事を中心に現場代理人を長く務め、「知恵は知識に勝る」の言葉を胸に経験を積んできた。常に情熱を持ち、目の前のことに全力で向き合う姿勢から、社長としての任務を力強く全うし、101年目の新たな歴史を歩み出していく力強さを感じた。

